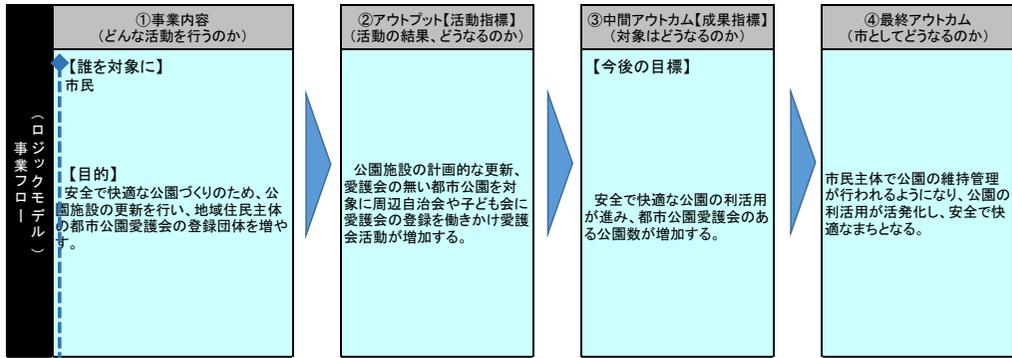


長久手市行政評価票 (A票：事業評価票)

事業番号	51	事業名	公園管理事業	担当部課	建設部みどりの推進課
基本情報	第6次総合計画・基本目標	1「やってみたい」でつながるまち		決算書 ページ	—
	行政改革指針・重点課題	—		会計 区分	一般会計
	法定受託事務の有無	無		予算区分(款-項-目)	
	その他(関係計画、要綱等)	無		7-4-3 公園費	
	事業開始の背景、経緯等	市民主体の維持管理を目指すことで公園に愛着を持ってもらうと共に、公園利用者に対して安全で快適に使っていただくことを目的としている。			
市民・民間事業者との連携協働の可能性	市民とのみ協働可		(両者と協働不可の場合はその理由)		



項目	単位	区分	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)
			事業費(A)	千円	予算 109,296	100,573	132,146
人件費(B)	千円	決算	6,401	6,878	5,467	3,857	-
総コスト(C)=(A+B)	千円	決算	110,987	103,098	133,147	110,057	-
事業対象の数(D) (R5年度は想定数)	人		58,545	57,466	60,035	60,352	60,770
対象あたりコスト(C/D)の過去3年平均値	千円		2	2	2	2	

中間アウトカム【成果指標】の数値設定 (事業の意図を反映する指標)	単位	【現状】		【目標①】		【目標②】	
		R4年度 (2022) 年実績	R9年度 (2027) 年実績	R9年度 (2027) 年実績	R13年度 (2031) 年実績		
愛護会のある公園数【単年】	公園	41		45		50	

(指標の設定根拠) (数値目標の根拠: 調査名、調査年など出典)
愛護会のある公園数は、市民の自主的な維持管理の意識の高まりを図ることができる指標であるため
全ての都市公園(50)に対し、愛護会が活動していることを目標とする。また、目標年次としては、毎年1団体増やしていくことを想定し、9年後の令和13年(2031)を目標年次とする。

事業開始からの経緯など	昭和59年度から、現在の長久手市公園愛護会報償金交付要綱を定め、都市公園の清掃や除草等の維持管理業務を自発的に行う団体に地域の公園活動を担ってもらってきた。昨今は子ども会の解散により、愛護会の登録も解散する場合もある。近年は福祉団体が愛護会活動を担うところも出てきた。 (活動のエピソード、コメント、特記事項など)
令和4年度の成果	新たに大平公園に愛護会の登録があった。
改善ポイント	(改善が必要なこと、改善の方法など) 愛護会登録団体を増やすだけでなく、地域活動を促進するよう、清掃や草刈に限らず花壇づくりなど各愛護会独自の活動を推進する。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事業の方向性) 指定管理者との共同による、コミュニティ花壇の設置等を推進していく。愛護会の登録団体を増やすための公園に近い地域住民団体を中心にPR活動を行う。また、愛護会代表者会議にて、他愛護会の活発な活動事例を紹介すると共に、地域活動の促進をPRしていく。
--------	---

活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
			(1) 【アクションプラン】長寿命化工事を実施した公園数	公園	見込 0	0	0	6
		実績	0					
(2)		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	拡充
アクションプランの査定結果が令和7年度から事業開始予定であるため、令和4年度の実績無し							コスト投入	縮小

活動指標 (事務事業の具体的な活動の指標)	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
			(1) 都市公園愛護会活動に携わる市民の延べ人数	人	見込 6,000	6,550	6,700	6,850
		実績	6,393					
(2) 花壇づくりなど愛護会独自活動の開催数	回	見込 7	8	9	10	11		
		実績	7					
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))> 【愛護会独自活動 実績】広場の金花植え2回、長湫南部公園花植え2回、草掛公園花植え1回、上川原公園花植え2回 【増加率の根拠】 (1) 令和4年度の実績として、41団体で6,393人の活動があった。1団体当たり約150人の活動が見込めるとする。 (2) 毎年1回づつ独自活動を増やしていく。							今後の方向性	拡充
							コスト投入	拡充

活動指標	単位	区分	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	R8年度 (2026)	
			(1) 運営に携わる市民の人数	人	実績			
(2) 【アクションプラン(総合計画)の指定の指標】		見込						
		実績						
(3)		見込						
		実績						
<備考:活動の概要(R4年度(2022))>							今後の方向性	
							コスト投入	